前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏(法人	氏(法人にあっては名称)住(法人にあっては主たる事業所の所在地)〒 136-8908											
名 株式会	 							折砂1丁目2看	≸10号			
	本票作成部署名:岡山工場 製造課 エンジニアリング係											
	ナキュ光廷 分類 00 光廷々、 会当日制124米											
	工たる条件 _{コード} 09 条件 1 . 良付印 3											
事業の概要	事業の 概 要 牛乳の生産処理及び販売											
	番号	7		工場	景等のタ	名称			戸	斤 在	地	
	1	① 岡山工場						岡山県倉敷市西阿知町1286				
県内の	2	② 中四国支店 倉敷オフィス						岡山県倉敷市西阿知町1286				
主な	3	り 中四国支店 岡山オフィス					岡山県岡山市北区上中野1-19-43					
工場等												
特定事業	者[1	然料等原	原油換算1,	500klL	J上 🗌 ②ハ	·ス・トラ:	ク100台	す、 タクシー250 [・]	台以上 🗌 🤅	3)CO ₂ 換算:	3,000t以上
の該当要	件	(• -	L場等(の数		3 所		車両·	台数(②該	当の場合)		台)
温室効果な	ブス ま	に淮左	F度(平	元成 22	年度)	(平)	成 25)年[度排出量	目標年度(平成 2	27 年度)
排出量		<u>→</u>		6,553 to		(1)	170, 20		表 t CO ₂	口尔丁及($\frac{t CO_2}{t}$
加田里	- <u>-</u>	番号			場等の2	 名称		٥, 11		25)年度:		0 0 0 2
	<u> </u>	1	岡山コ		~ ., -	H 13			(1794 -	7 1 2		t CO ₂
		2			敷オ	フィス					•	t CO ₂
主な工場		③ 中四国支店 岡山オフィス						47 t CO ₂				
の排出量	· -					<u> </u>						t CO ₂
	-											t CO ₂
	_											t CO ₂
	-		Ln DD		t. N. a				= 4 =			
 削減目標		十四月	期間:			23 年度			平成 27		,	箇年度)
達成状況				出量基準	(2		度削減		目標削減		目標道	
		J	原単位	工基準		△ 16.0) (%	5. 0	% □ j	達成	☑ 未達
(原単位基	進	l室効	果ガスの	の排出量と紹	密接な関	係をもつ値	の内容	# W#		位当たり排出		
の削減目標	を	 1	ר / / ליי ר ו	т.\			-	<u> 基準</u> 69.	年度 (91	25)年 81.12		<u>標年度</u> 6. 41
選択してい 場合に記入		己上市	島(億日	寸)			lt			CO ₂ /(億円)		(億円)
(\$\tau\) = 4	+ +	7. ≑7 -	1)					(02/ (CO2/ (1/2x1 1 /	t CO2/	(1/2/11)
	(該当事業者のみ記入) ベンチマーク 対象事業の名称 ベンチマーク指標 関連数値(平成 25 年度) 達成率等						達成率等					
指標の状		2.4		- F 14			, 1H		124.C.2%	- () /// 0	. , , , ,	//
【削減状		白戸	評価】									<u> </u>
* 11111/2/1//	. VU V Z	<u> </u>	<u>н г рш 1</u>	1 - 1-1-1-2			→1 →4 · 2	·)) /		N. N.	

省エネについては他工場の情報や無駄箇所の設備改善を行い省エネを行っている。省エネについては 年度計画の目標達成はできたが、売上高が目標年度を上回っているため原単位は目標未達となった。

_					
•	1.//-	淮	μ	. <i>⊢</i> +r[٦
	\mathbf{u}	→/H÷	17	'+- 11	
	7 H-	100	1/13	. 11111	

- ・職場毎の省エネ推進を進め、進捗管理を行った。 ・省エネパトロールを行い、改善・修理を行った。 ・IS014001に基づき、環境推進に努めた。

「日煙削減率達成のために実施」を供置及び合後の取組

	<u> 直した措置及び今後の取組】 </u>					
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容					
岡山工場	(25年度実施分) ・社用車をガソリン車からハイブリット車へ変更した。 ・設備ポンプ・モーターにインバーターを設置した。 ・冬場にアイスビルダー数台を停止した。 ・蒸気圧力を下げることで都市ガス量の削減を図った。 (今後実施予定分) ・高効率ボイラへの更新 ・ポンプ・モーターにインバーターを設置 ・ライン洗浄時間の見直しを行い、電力・蒸気の削減を図る。					

【森林保	【森林保全等吸収源対策への取組】								
県内で の取組	無								
その他	無								
【再生可	能エネ	ベルギーの導入】							
県内で の取組	無								
その他	無								

_【その他特記事項】
【その他特記事項】 特に無し